

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・観光統計プラットフォームを構築し、宿泊施設等へシステム導入支援をした結果、101施設の導入に繋がった。 ・宿泊施設のユニバーサルツーリズムへの対応やDX導入等による業務省力化・生産性向上の取組を20件支援し、経営力の向上を推進した。 ・インターンシップ受入や外国人材活用等を学ぶセミナー、専門学校就職担当との情報交換会を開催し、宿泊事業者の人材確保を支援した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・観光消費額の向上に寄与する有料の体験型コンテンツ創出を15件支援した他、県内周遊を促進するため観光案内所の連携を促進した。 ・アドベンチャーツーリズム推進のため、佐伯市、豊後高田市等にモデルコースを造成、専門家による磨き上げを実施した。 ・おおいた姫島とおおいた豊後大野の日本ジオパーク認定10周年を記念したシンポジウムの開催等により、認知度向上や普及啓発を図った。 ・ユネスコエコパークの認知度向上のため、オフィシャルアーティストDRUM TAOを活用した情報発信を行ったほか、県内エリア3市による観光施設の改修など受入環境の整備を支援した。
③④	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語コールセンターの充実を図り、コロナ収束後も外国人観光客が安心して訪れることのできる態勢を強化した。 ・観光・地域づくりを担う人材の育成を目指すおおいたツーリズム大学の修了生が累計374名となった。(R5年度新規修了生16名)
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・おおいた豊後大野ジオパークのアクセス道路である緒方高千穂線(上冬原工区)の整備が完了した。また、国東半島の広域的観光ルートである新城山香線(田染路工区)等の整備を推進した。 ・おもてなしの道路管理、良好な眺望の保全・再生・創出に向けて、観光地等を結ぶ主要路線の草刈りや支障木伐採等を行った結果、来県する観光客等へ安全かつ快適な道路環境等が整備された。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(5年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	宿泊業経営力強化加速化事業	200.0	244
②	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	319.7	70
	おおいたジオパーク推進事業	150.0	70
	国内誘客総合推進事業	71.7	238
③④	おもてなし人材育成事業	98.4	244
⑤	(公)道路改良事業	—	370
	おもてなしの道路等環境整備事業	—	245

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R5.8)</p> <p>・観光産業をはじめとした人材不足対策では、働き方改革や賃金向上など、企業や地域単位でできることではないので、県全体で取り組んでほしい。</p>	<p>○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R5.8)</p> <p>・観光面でも、バリアフリーはもちろん、障害のある方などが利用しやすい部屋、風呂等の情報を積極的にアピールしていただくと、リピーターになっていただけるのではないかと。</p>
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊事業者の経営力強化を一層進めるため、DX導入及び人材確保に取り組む事業者を支援する。 ・インターンシップ受入促進に向けた事業者向けのセミナーやマッチングイベントの開催、海外大学との連携による外国人材の受入を促進する。 ・地域の自然・文化を活かしたアドベンチャーツーリズムやカルチャーツーリズムのコンテンツ開発などの魅力的な観光サービスの事業化を支援する。 ・地域を牽引するリーダーを育成するため、おおいたツーリズム大学において各地の取組を題材に議論を行うなど、県内外での講義を実施していく。 ・施設のバリアフリー改修などユニバーサルツーリズムを推進し、誰もが快適に観光できる環境整備を図る。 ・市町村等と連携したオーバーツーリズムの未然防止・抑制を図る。 ・ジオパークの認知度向上や誘客拡大を図るため、体験ワークショップイベント等による情報発信を行うとともに、受入体制の整備等を支援する。 ・エコパークの認知度向上や誘客拡大を図るため、自然の持続的利用に関する大学連携や農林産物等のブランド認証、エコツーリズム拠点施設の改修等への支援を行う。 ・農林産物等のブランド認証システム構築や宿泊施設の改修支援、登山道の「グレーディング」(難易度の設定)により、エコパークのさらなる認知度向上や誘客拡大を図る。 ・引き続き、観光地へのアクセス道路の整備に加え、魅力ある景観の保全・形成に向けた取組を推進する。